

## 採点資料

科目名：小論文

### 【出題意図】

途上国における重要な政策課題である教育水準の向上について、課題文の中で論じられている経済学的観点からの政策論議の内容を理解した上で、それを踏まえた自身の主張を論理的に展開していく能力を問う。

### 【採点基準】

問題1 （配点 40）

「供給ワラー」の考え方の説明として、

- ・「途上国の教育水準が低い原因は、教育機会の提供の不足である」という基本認識
- ・その問題解消のための具体的政策として、学校の建設や無償化などを提言している

といった諸点にどこまで言及できているかに応じて、説明の正確性も踏まえた上で得点を与える。

「需要ワラー」の考え方の説明として、

- ・「その国の経済において、知識労働力に対するニーズが高まれば、自ずと質の高い教育サービスが提供されるはずだ」という基本認識
- ・そのため政府が行う教育政策よりも、教育サービスの供給を自由市場に委ねることを重視する

といった諸点にどこまで言及できているかに応じて、説明の正確性も踏まえた上で得点を与える。

問題2 （配点 60）

「供給ワラー」の主張する政策の問題点として、「外形的に教育制度を整えたとしても、実際の質が担保されるとは限らない」という点、「需要ワラー」の主張する政策の問題点として、「高い教育を受けることが子供の経済的利益につながるとしても、その子供に教育を受けさせるかを決定する権限を持つ親が、それを自身の利益と認識するとは限らない」という点にどこまで言及できているかに応じて、説明の正確性も踏まえた上で得点を与える。

その上で、途上国の教育水準の向上策について、公的な政策に基づく教育の提供を重視すべきか、もしくは自由市場における私的な教育サービスの提供・購入を促進すべきか、といった論点を立て、自身の主張を経済学的に論述することができているかを評価し、得点を与える。